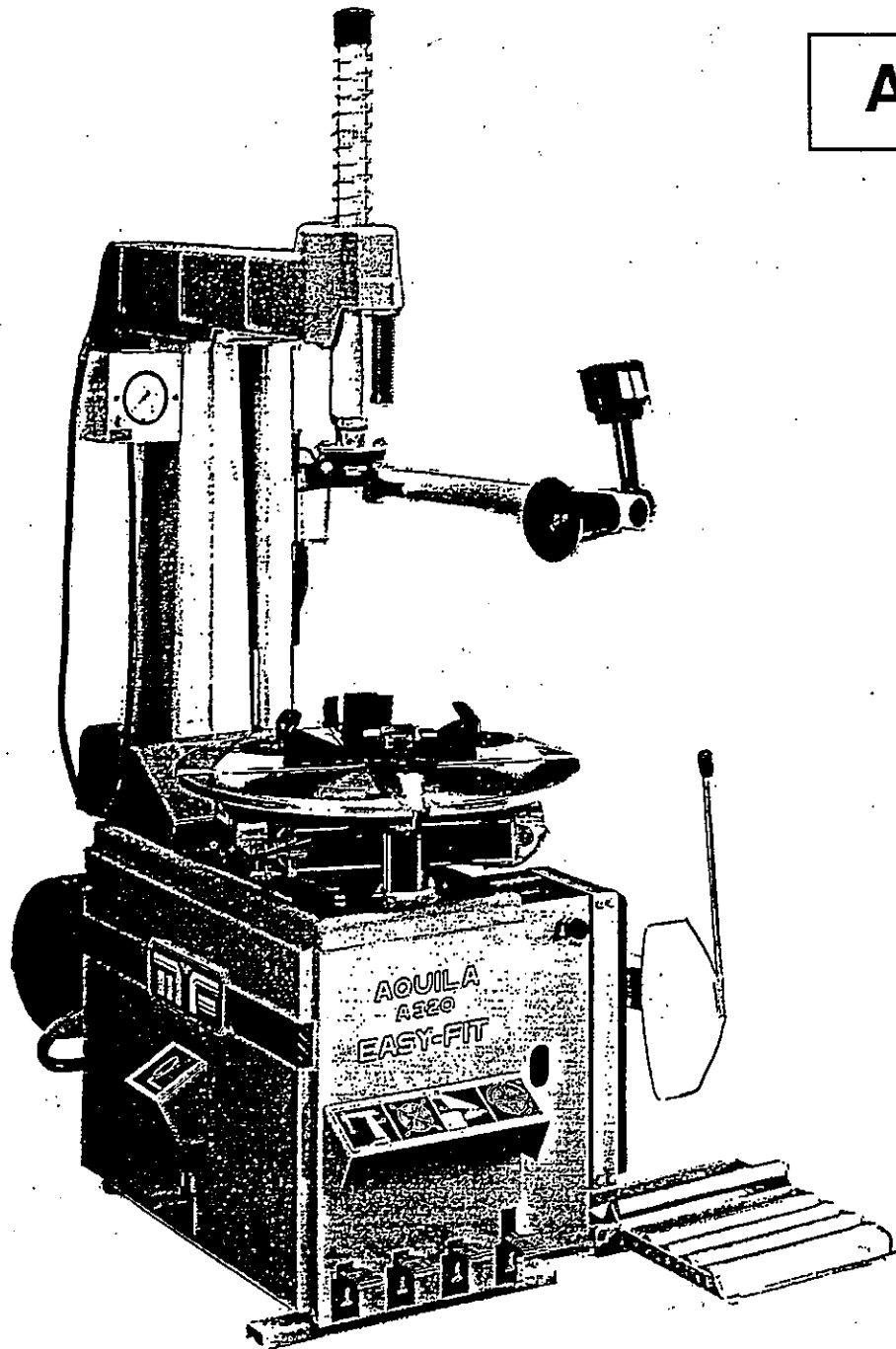


A 320



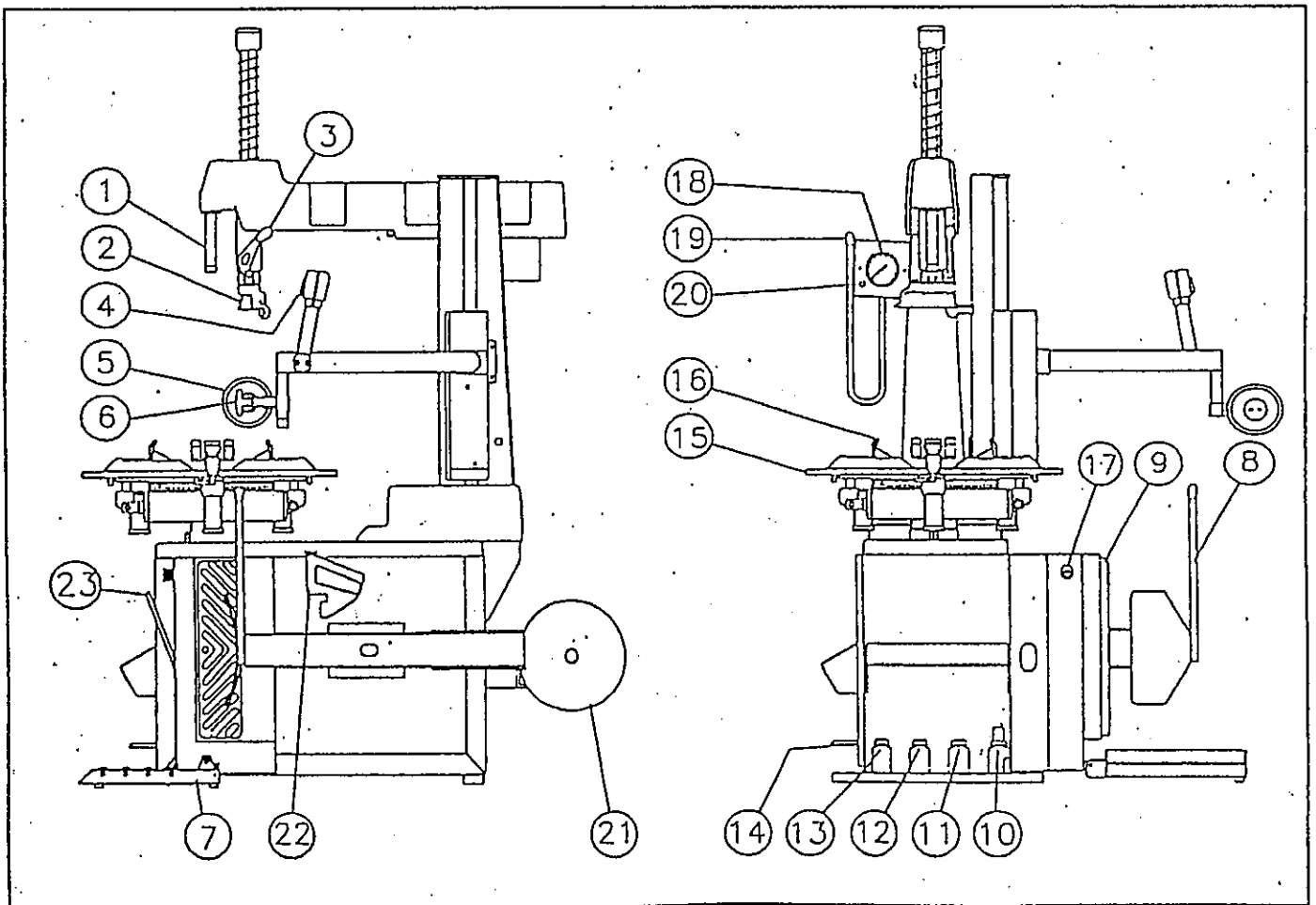
A 320イージーフット取扱説明書

USO E MANUTENZIONE
USE AND MAINTENANCE
UTILISATION ET ENTRETIEN
BETRIEBES UND WARTUNGSANLEITUNG
USO Y MANTENIMIENTO



3)

1. 六角ロッキングコントロールシャフト
2. マウントツール
3. ビットホルディングレバー
4. ディスクコントロールボタン
5. 万能ディスク
6. ディスク角度調節ハンドル
7. ローラー
8. ビットブレーカー
9. スライディングホイールハット
10. ターンテーブル回転ハンドル
11. ビットブレーカ操作ハンドル
12. チャッキング操作ハンドル
13. コラム操作ハンドル
14. エア注入ハンドル
15. ターンテーブル
16. ビットジヤッキ
17. ビットジヤッキ操作ボタン
18. エアゲージ
19. エアチャック
20. エア排気ボタン
21. エアタンク
22. ビットヘルパー
23. タイヤレバー
24. ビットブレーカー調節ネジ



4.)

設置

コンプレッサのエアライン(10-12kgf/cm²)に機械を接続します。

電源を接続する前に、電圧が機械の名版に記載されたものと同じかどうか確認して下さい。

又電圧を替える場合は(例えば3相380Vを3相200Vにする時は)モーターの接続ケーブルを替えて下さい。

電源を繋いだ後10番のペダルを下に踏みターンテーブルが時計廻りに回転する事を確認して下さい。

逆転する時は、フィードケーブル(3相線)の2本を反対にして下さい。

重要

安全面及び機械の保守上アースを必ず接続して下さい。

5.)

保守

・機械の裏側にあるオイルの油量を定期的にチェックして、不足している時は補充する。(最低一ヶ月に1回)

・エアラインのフィルターの水抜きを定期的に行なう。

・月に一回程度、駆動パーツを清掃する。(六角シャフト、各スライト等)

・初めの数時間の使用後、又定期的に機械をチェックし必要に応じて継手やボールの緩みを8ページに記載のトルク表に従って増し締めして下さい。

・2本の六角シャフトやマウントツールは常に綺麗にし乾燥状態を保つ。
(清掃にはデイスル材を使うとよい)

・定期的にギヤボックスの油量をチェックし必要に応じてギヤオイルAPIDT/100又は同等のものを注油して下さい(潤滑油ケーブルを参照の事)

・回転ボールの張りをチェックし、必要な場合はモーターの固定ボールで調整する。

重要

・全てのメンテナンス作業は、必ず電源を切った後行なうこと。

・下記の場合は保障期間内であっても、有償扱いとさせていただきます。

1. 上記保守事項を怠った場合の故障修理。

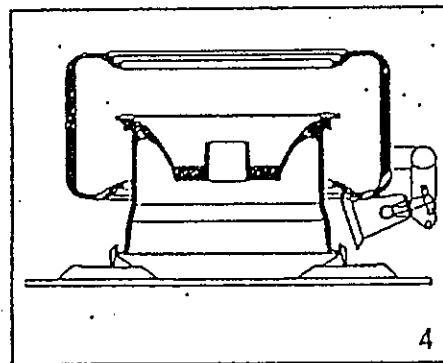
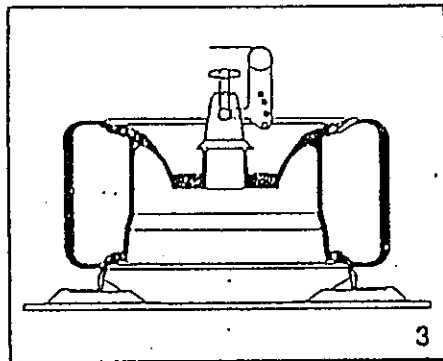
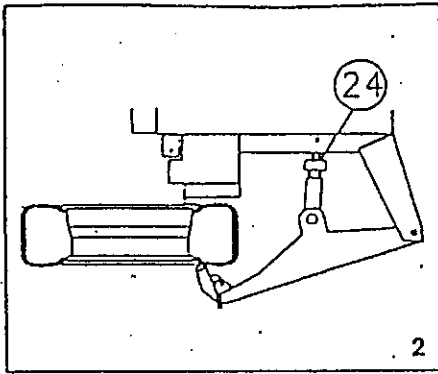
2. 正規な操作手順(特にローラーデイスル-トジョッキを下げる事等)をせず破損した時。

3. マウントツール(NO.2)の樹脂製ツールの摩耗、破損時。

「当ツールは新品アルミオイルの組み込み用に設計されている為

リムエッジにバリがあるオイルやスチールオイルに対しては、

スチール製ツールに較べて、摩耗が早くなります。



6.) 取り外し

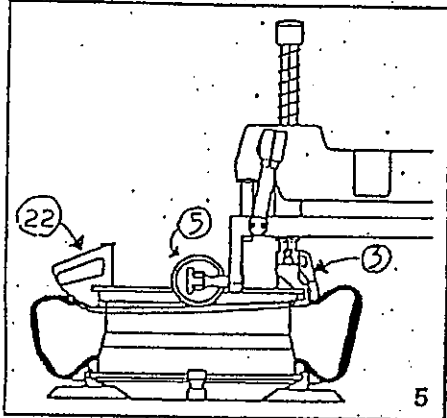
1. タイヤの空気を抜く。
2. ホールに残っているバランスウェイトを取り外す。
3. ビートブレーカでビートを落とす。
 - a) ビートブレーカ (NO.8) とハット (NO.9) の間にタイヤをもってくる。
 - b) 調節ネジ (NO.24, 図2) で刃がタイヤに食い込みすぎ無いように調節する。
 - c) 図2のように、刃をビートに当て、ペダル NO.11 を踏む。
 - d) ロラー (NO.7) の上でタイヤを廻しながら両側数を所づつ繰り返す。
4. ホールをターンテーブル (NO.15) の上に乗せ、ペダル (NO.12) を踏んでロックします。その時ビートプレッシングディスク (NO.5) を図3の様に使い、ホールを押さえると作業し易くなります。(正確なクランプ)
5. ペダル (NO.5) を踏み、ジャグ (NO.1) を立てる。
6. マウントツール (NO.2) をホールに際でロックする。
7. タイヤレバー (NO.23) を用いて上のビートをマウントツール (NO.2) の背に乗せる。
8. 7本の扁平タイヤを外す時などは、ビートジャッキ (NO.16) を使い、タイヤ全体を持ち上げると作業し易くなります。又下のビートが再びホールにはまってしまうのを防ぎます。
9. ペダル (NO.10) を踏んでターンテーブルを時計回りに回し上のビートを外す。
10. 操作ボタン (NO.17) を用いてビートジャッキ (NO.16) をさげる。
11. 下のビートの外し方は二通り有ります。
 - a) 上のビートと同じようにレバーで外す。
 - b) ディスク (NO.5) をハンドル (NO.6) で向きを変えて使う。
図4の様にディスクをビートに当て、ターンテーブルを早い回転スピードで回しながらディスクを徐々に持ち上げていく。
12. コラム (NO.1) を倒し、ホールロックを解除する。

注意

1. 作業中は可能な限り手/脚を動いているパーツから離すこと。
又ネクレス、ブレスレット、だぶだぶした服装は作業者にとって大変危険です。
2. 上記40項はジャッキ破損防止のため大変重要です。

7) 組み付け

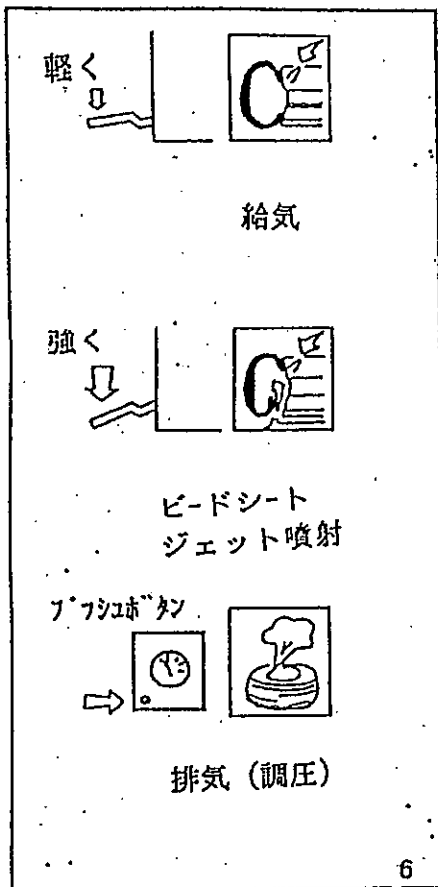
1. ホールをターンテーブルに載せロックする。
2. グリス(ワックス)をナイフのビット/ホールの刃部にぬり、ナイフを載せる。
3. コラム(NO.1)を立てマウントツール(NO.2)をセットする。
4. ターンテーブルを回しながら下のビットをツール(NO.2)に引っ掛け、軽く手を添えながらホールに入れる。
5. 上のビットは、図5の様に下の3点で押えながらターンテーブルを回して入れる。



1. ビットホルディングレバー-(NO.3)
2. ビットホルダー-(NO.22)
3. ディスク(NO.5)

ディスクの高さを調節してビットをドロップセンターに落として下さい。
又、ビットホルディングレバー-(NO.3)はしっかりと手で刃側へ押さえて
いて下さい。

6. ビットがホールにはまったらビットホルダー/ディスクをホールから離し
コラム(NO.1)を倒して下さい。
7. ペダル(NO.12)を踏んでホールのロックを解除して下さい。



8. リアエア供給

- ・I7-注入のヘッド(No.14)は二段階になっています。
 - 1.ヘッドを途中まで踏むと(図6上)I7-ホース(No.19)からI7-がでます。
 - 2.更にヘッドを踏み込むと(図6中)チャッキングする爪の外側からジェット噴射がでます。これは、チューブレスタイヤのビード部に隙間があり、ビード上げ難い時に、瞬時にI7-ジェットでビードを入れる為に使用する機能です。
- ※ジェット噴射を使用するときは、ホイルをターテーブルに内締めロックして下さい。(新品アルミホイルの為に、プラスチックアダプターが標準備品として付いています。)
- ・通常の吸気作業時は外締めチャッキングを解除して(解除したコマ(No.1)に立て掛けると良い)行なって下さい。
- ・タイヤ内の空気圧はI7-ゲージ(No.18)で表示され、排気するときは排気ボタン(No.20)を押して下さい。

注意

給気作業は大変危険な作業です。
I7-を入れる前にタイヤに傷が無いかどうか確認し、
又I7-入れすぎには充分気を付けて下さい。

9.) エアータンク取扱い上の注意

コンプレッサーエアータンクを安全にご使用戴くために下記の事を必ず守って下さい。

- 1.) プレートの上に記載してある空気圧と温度のミットを必ず守ること。
- 2.) タンク真上や下で溶接作業をしないこと。
- 3.) タンクは、一切のダメージを受けて居ない完全な状態を保つようにし、必要ならば、同等のタンクと取り替えること。交換する際には、セイフティバルブを必ずタンクに直接取り付けして下さい。又セイフティバルブの可動容量は、タンクの容量より低いものを使って下さい。
- 4.) タンクの中に悪いガスを充満させたり、火の側や可燃物質の側に置くことは絶対に避けて下さい。
- 5.) 作動中にタンクを揺らすと、金属疲労を起し寿命が短くなりますので絶対に避けて下さい

エアータンクは、爆発の可能性もあり大変危険なものです。不法改造や正しくない使用は決してしないで下さい

オイルのメーカー別チャート表

OGGETTO OLI LUBRIFICANTI E CORRISPONDENTI									
SIGLA DI ALCUNE CASE FORNITRICI									
IMPIEGO (用途)	API	MOBIL OIL	SHELL	ESSO	BP	AGIP	FINA	TIPI DI LUBRIFICANTI DA IMPIEGARSI	
								FINA	AGIP
INGRANAGGI (齒車) RIDUTTORI (減速機) BRONZINE (軸受)	DT 100	MOBIL GEAR 629	MACOMA R 68	SPARTAN EP 150	ENERGOL GR 200 EP GR-XP 460	BLASIA 107	FINA GIRAN ISO		
COHANDI IDRAULICI (油圧油)	CIS 32	DTE 24	TELLUS 25	MUTO HP 32	ENERGOL RLP 65	OSO 35	HYDRAN 31		
LUBRIFICAZIONE (潤滑油) A GRASSO	APIGREASE LT-S	MOBIL PLEX 46	ALVANIA EP 1	BEACON EP 1	ENERGREASE LSI EP	GR.MU EP 1	FIARSON EPL 1		

トルク表

M6 Nm 10 Kgm 1	M8 Nm 25 Kgm 2,6	M10 Nm 50 Kgm 5,1	M12 Nm 87 Kgm 8,9	M14 Nm 138 Kgm 14,1	M16 Nm 210 Kgm 21,5	M18 Nm 289 Kgm 29,5	M20 Nm 412 Kgm 42	M22 Nm 559 Kgm 57	M24 Nm 711 Kgm 72	M27 Nm 1049 Kgm 107	M30 Nm 1422 Kgm 145
----------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	---------------------------	---------------------------

BEISSBARTH

最高級コンピューターホイール balanser

バイスバース

マイクロテック540



PANG

総輸入発売元

株式
会社

Beissbarth ROHE
パンクタイヤサブライズ



MONDOLFO FERRO S.p.a.

VIALE DELL'INDUSTRIA 46/48 - 61037 MONDOLFO (PESARO) ITALY - TEL. 0721/959005 - 959156 - TELEX 222407 MONFER I

輸入元：株式会社 パンクダヤサライズ 03(358)6908

スベアパーツの保有年限は、該当機種廃番後、7年間を基準としております。
宜しく御理解頂きますよう、御願い申し上げます。